

富士山の火山活動解説資料（平成 23 年 10 月）

気象庁地震火山部
火山監視・情報センター

3月15日22時31分に発生した静岡県東部（富士山の南部付近）を震源とするマグニチュード¹⁾6.4の地震以降、地震活動が活発な状況となっていました。その後、地震活動は低下してきています。その他の観測データでも浅部の異常を示すものはありません。火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。

平成19年12月1日に噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

活動概況

・噴気など表面現象の状況（図1）

萩原（富士山山頂の東南東18km）に設置してある遠望カメラでは、悪天候のため不明の期間がありますが、その他の期間は、山頂部に噴気は認められませんでした。

・地震や微動の発生状況（図2、図3）

3月15日22時31分に発生した静岡県東部（富士山の南部付近）の地震（マグニチュード¹⁾6.4）以降、その震源から山頂直下付近にかけて地震が増加しました。その後、地震活動は低下してきています。

深さ15km付近を震源とする深部低周波地震は少ない状況でした。

火山性微動や浅部の低周波地震は観測されませんでした。

1) マグニチュードは地震の規模を示します。資料中のマグニチュードは暫定値で、後日変更することがあります。



図1 富士山 山頂部の状況（10月28日 萩原遠望カメラによる）

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成23年11月分）は平成23年12月8日に発表する予定です。

この記号の資料は気象庁のほか、東京大学及び独立行政法人防災科学技術研究所及び神奈川県温泉地学研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平20業使、第385号）。

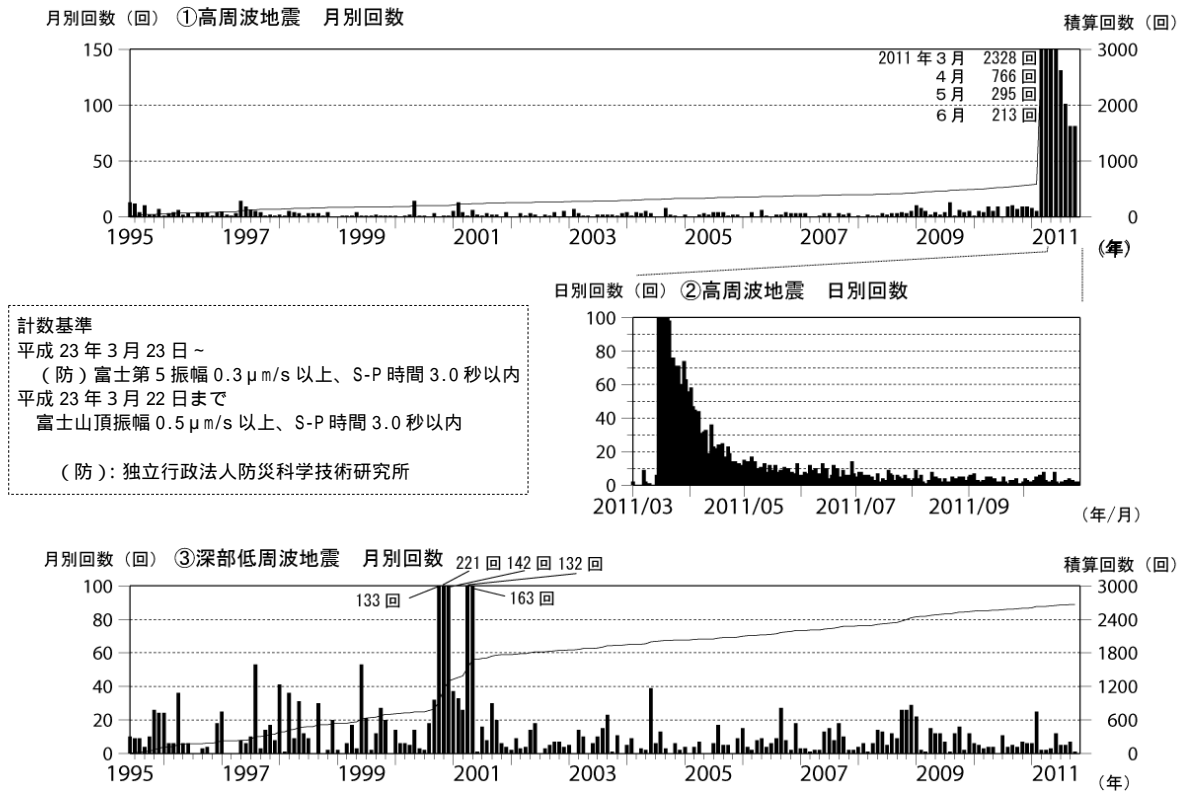


図2 富士山 月別地震回数(1995年6月～2011年10月)

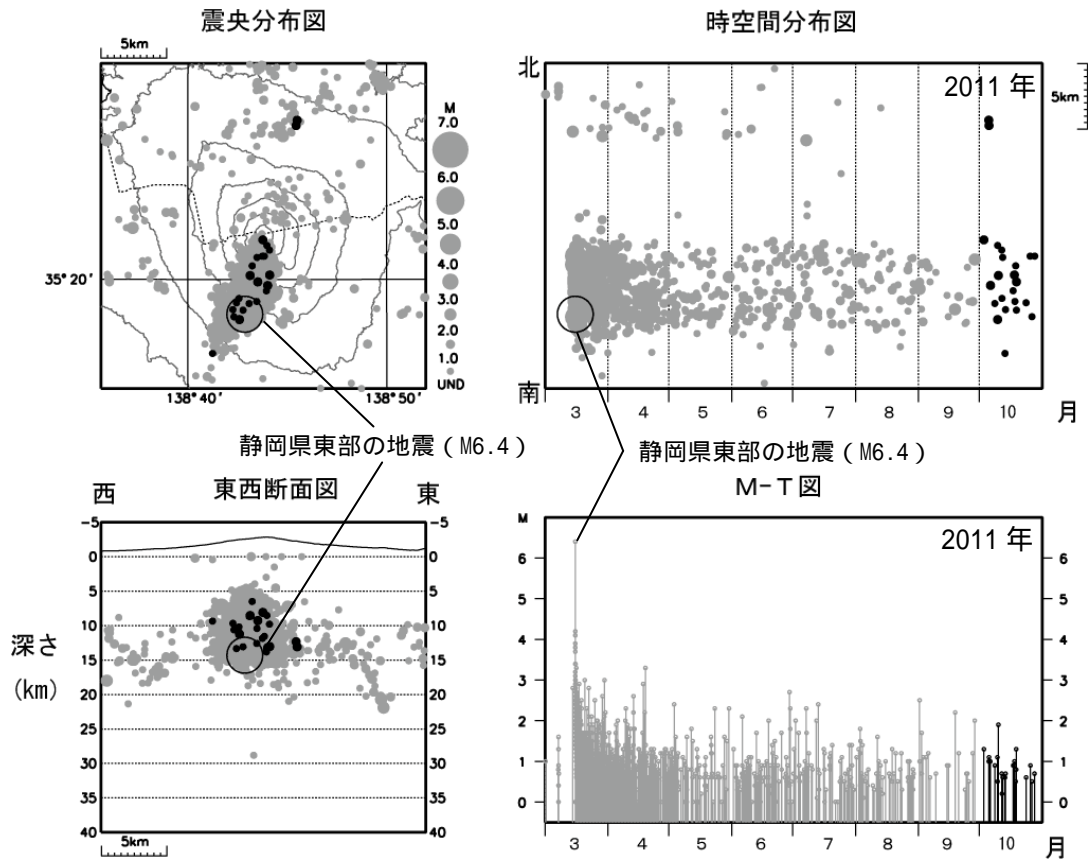


図3 富士山 広域地震観測網による山体・周辺の地震活動(1999年10月1日～2011年10月31日)
 : 1999年10月1日～2011年9月30日 : 2011年10月1日～10月31日
 時空間分布図及びM-T図は2011年3月以降の活動を記載しています。
 2011年3月～5月分は一部未処理の期間があります。

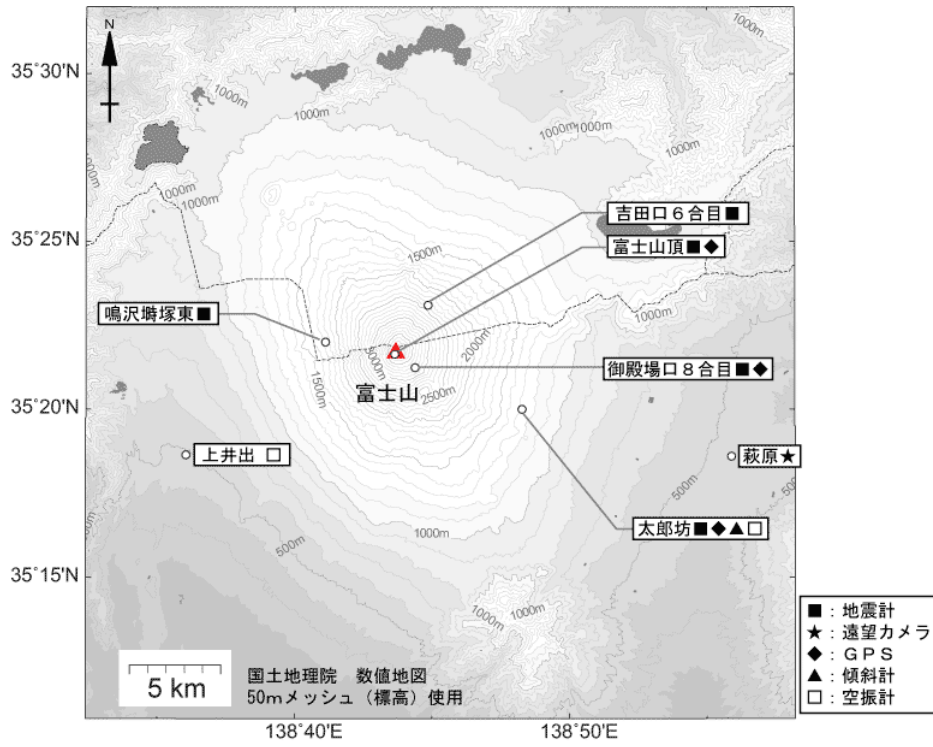


図4 富士山 気象庁の観測点配置図(小さな白丸は観測点位置を示しています)運用開始前の観測点も含まれます。